

## 学生用ジョブ・カード案の試行実施に当たって

## 趣旨

大学等におけるキャリア教育推進に当たってのジョブ・カード活用・普及促進等に関する実務者会議（以下「会議」という。）においては、過去2回の議論を踏まえ、学生用ジョブ・カードの活用のあり方を整理し、この度、学生用ジョブ・カード案を作成しました。

学生用ジョブ・カード案については、開発後、大学等に普及し、学生等のキャリア形成や就職活動に真に役立つツールとして活用が促進されるよう、会議構成員及びその大学関係者等の協力を得て学生等に対する試行を行い、その結果を検証し、大学関係者や学生等にとってより活用しやすいツールとするため、必要な修正等を行うこととします。

## 試行の実施

## 1 実施時期

平成 23 年 10 月～12 月

## 2 実施規模

原則として、試行に協力して頂ける教員又はキャリア・コンサルタント 1 人当たりの学生の対象人数 20 名以下の可能な範囲で実施。

## 3 実施対象

大学 2 年生、3 年生中心

## 4 実施する場面

下記のうち実施可能な場面において実施。

- (1) キャリア教育関連等の授業、セミナー、ゼミ又は個別の面談
- (2) キャリア・センターにおけるキャリア・コンサルティング

なお、試行であるため、実施する教員やキャリア・コンサルタントは、登録キャリア・コンサルタント以外でも可とします。

## 5 実施手順

< 上記 4 (1) の場合 >

試行の実施対象となる学生に対して、「学生用ジョブ・カード案」トライアルのお願い」（別紙 1）に基づき、試行の趣旨や記載の仕方等について説明します。

様式 1〔履歴シート〕（「学生用ジョブ・カード様式 1〔履歴シート〕」の ・ を含む。以下同じ。）及び様式 2〔パーソナリティシート〕を記載できる範囲であらかじめ学生に記入してもらいます。

授業やゼミの場等を通じて、学生に様式 1 及び様式 2 の記入内容を確認させ、必要な修正をしてもらいます。

教員は学生が記載した記入内容を個別に確認する必要はありません。

学生に、教員の支援を受けてまとめた様式 1 及び様式 2 の記入内容を参考として、様式 3〔キャリアシート〕の本人記入欄を記入してもらいます。

学生との面談を行い、様式 3 の本人記入欄の内容等について助言し、適宜修正を求めます。そして、完成した様式 3 の教員記入欄にコメントを記入します。記入内容については、事前に学生の同意を得るものとします。

可能な場合は、キャリア・センターのキャリア・コンサルタントも、キャリア・コンサルティングを行い、キャリア・コンサルタント記入欄にコメントを記入します。記入内容については、事前に学生の同意を得るものとします。

実施が難しい場合、本手順は省略してください。

完成した学生用ジョブ・カード案を学生に手交するとともに、学生に対して、「アンケート調査（別紙 2）」を実施します。その後、記入済みの調査シート及び厚生労働省への提出を了解した学生のジョブ・カード本体（後述 6 のとおり、個人情報を書いたもの）をまとめて、平成 23 年 12 月末までに事務局に提出します。

ジョブ・カードを活用して授業等を行った感想等について、「試行結果報告様式（別紙 3）」にまとめ、平成 23 年 12 月末までに事務局に提出します。

#### < 上記 4 (2) の場合 >

キャリア・コンサルタントが試行の実施対象となる学生に対して、「学生用ジョブ・カード案」トライアルのお願い」（別紙 1）に基づき、試行の趣旨や記載の仕方等について説明します。

様式 1〔履歴シート〕及び様式 2〔パーソナリティシート〕を記載できる範囲であらかじめ学生に記入してもらいます。

キャリア・コンサルタントが様式 1 及び様式 2 の記入内容を確認し、学生に必要な修正をしてもらいます。

学生に、キャリア・コンサルタントの支援を受けてまとめた様式 1 及び様式 2 の記入内容を参考として、様式 3〔キャリアシート〕の本人記入欄を記入してもらいます。

学生にキャリア・コンサルティングを行い、様式 3 の本人記入欄の内容等について助言し、適宜修正を求めます。そして、完成した様式 3 のキャリア・コンサルタント記入欄にコメントを記入します。記入内容については、事前に学生の同意を得るものとします。

完成した学生用ジョブ・カード案を学生に手交するとともに、学生に対して、「アンケート調査（別紙 2）」を実施します。その後、記入済みの調査シート及び厚生労働省への提出を了解した学生のジョブ・カード本体（後述 6 のとおり、個人情報を書いたもの）をまとめて、平成 23 年 12

月末までに事務局に提出します。

ジョブ・カードを活用してジョブ・カード交付を行った感想等について、「試行結果報告様式（別紙3）」にまとめ、平成23年12月末までに事務局に提出します。

## 6 留意点

ジョブ・カードは、働く人の生涯を通じたキャリア形成支援ツールとして使うものと位置づけられているため、学生本人の基本情報を記入するジョブ・カード様式1〔履歴シート〕については、現在使われているジョブ・カードと共通のものとなっています。また、本シートは、就職活動時に履歴書の代用として使うことができるものですので、今回トライアルをお願いする学生にとっては、空欄となってしまう欄が多くなることを事前に説明してください。

本来、ジョブ・カードは交付された本人のみが保存することとなっているが、今回は、様式案の見直しに当たっての参考とするため、できるだけ多くのサンプルを収集したいと考えています。ついては、アンケート調査用紙に加えて、様式本体のコピーを、氏名等の個人情報をマジック等で消した上で厚生労働省へご提出ください。なお、コピーについては、上記趣旨にご了解いただいた学生分のみで結構です。

平成24年度以降の本格実施後に、キャリア・センターでのキャリア・コンサルティングと教員による面談の両方を受けるケースも想定しているため、可能であれば、上記4（1）の教員による試行の場合には、キャリア・センターの協力を得て、教員による面談とともに、キャリア・センターでのキャリア・コンサルティングを受ける事例の試行もお願いします（あくまでも可能な場合であり、必須ではありません。）

学生用ジョブ・カード様式については、自らの履歴やパーソナリティの整理を通じてキャリア・ビジョンやアピール・ポイントを明確化し円滑な就職活動を開始するためのシートであるとともに、就職活動時における応募企業への提出も想定するものです。ただし、その際に様式3については、学生に対する第三者（教員又はキャリア・コンサルタント）のコメントが記載されていることから、これを応募企業に提出するかしないかは学生の意向によることを学生に説明し、各様式の用途や位置づけを踏まえた上で記入していただくようお願いします。

本試行は施行後に様式案の改善を図るために実施するものであることから、学生にはできるだけ各項目を記載するよう努めてもらい、そのうえでアンケートに意見をいただくように説明をお願いします。

## 参考：学生用ジョブ・カード交付の考え方（案）

ジョブ・カードは、ジョブ・カードを活用したキャリア・コンサルティングにより、職業意識やキャリア形成上の課題を明確にし、自覚的な求職活動やキャリア形成を促すとともに、登録キャリア・コンサルタントがキャリア・コンサルティングを行ったうえでアドバイス等を記載し、円滑な就職につながる効果が期待されるものである。

学生用ジョブ・カードについても、登録キャリア・コンサルタントがキャリア・コンサルティングを行ったうえでアドバイス等を記載し、学生に交付することができるようなものとする必要がある。

以上を踏まえ、学生用ジョブ・カードの交付の考え方については、以下のように整理することとする。

### キャリア・センターのキャリア・コンサルタントによる交付

登録キャリア・コンサルタントが、学生に対してキャリア・コンサルティングを行ってジョブ・カードを作成した場合に、交付したこととする。

### 大学、短大の授業等を活用した教員による交付

- ・ キャリア教育関連の授業や学生の就職支援に携わっている教員については、職業相談に係る資格やキャリアに関する業務経験の有無にかかわらず、ジョブ・カード講習受講要件を満たすものとする等も含め、検討している。同講習を受けて登録キャリア・コンサルタントとなり、かつ学生に対してキャリア・コンサルティングを行ってジョブ・カードを作成した場合に、交付したこととする。
- ・ なお、上記以外の教員については、ジョブ・カードの交付を想定していない。

ジョブ・カードの交付とはみなさないが、上記以外のケースで、大学の授業等において学生用ジョブ・カードを教材等として活用すること、登録キャリア・コンサルタントではない教員が、授業等で学生に対してジョブ・カードの記載を指導し、本人と面談を行った上で教員記入欄にコメントを記入したものを応募書類等として活用することについては差し支えないこととする。

上記は、事務局案として作成したものであり、確定したものではない。

# 「学生用ジョブ・カード案」トライアルのお願い

厚生労働省職業能力開発局

厚生労働省では、転職や再就職を目指して就職活動を行う方々を支援するため、「ジョブ・カード制度」を運営しています。

この制度は、就職活動を行う方々がハローワーク等でキャリア・コンサルティングを受けながら、様々な履歴や、これまでの仕事の中で得られた知識・技能をふりかえり、自分のPRポイントや働くことに対する意欲などを「ジョブ・カード」と呼ばれるシートにまとめることにより明確にし、自信を持って就職活動ができるように支援するものです。

このたび、転職や再就職を目指す方々を主な対象としていたジョブ・カードを、初めて就職活動を行う学生の方々向けにアレンジして活用していただけるように、「学生用ジョブ・カード」を新たに開発することとなり、貴大学の先生や職員の方に学生用ジョブ・カード作成のための会議の委員としてご助言をいただきながら作成を進めて、学生用ジョブ・カードの案ができあがりしました。

皆様には、本ジョブ・カードのトライアルにご協力いただき、より使いやすくするためのご意見をいただきたいと考えております。どうぞよろしくお願い致します。

学生用ジョブ・カード案は、以下の構成となっています。

## ジョブ・カード様式1（履歴シート） ・

学生本人の基本情報を記入します。

現在のジョブ・カードとの共通様式であるため、今回のトライアルでは、空欄が多くなります。

## 学生用ジョブ・カード様式1（履歴シート） ・

学校の課程で関心を持って取り組んだことや、アルバイト、サークル等の活動をふりかえり、そこから学んだことなどを整理して記入します。

## 学生用ジョブ・カード様式2（パーソナリティシート）

自分のパーソナリティについて、6種類の観点から、記入します。

## 学生用ジョブ・カード様式3（キャリアシート）

様式1や2に記入した内容を参考にして、先生や職員の方と相談しながら、自分のキャリア・ビジョンやアピールポイントをまとめます。また、先生や職員の方にキャリア・ビジョンの実現や、アピールポイントの気づきのためのアドバイスなどを記入してもらいます。

先生や職員の方の説明にしたがって、ジョブ・カードを作成していただきますが、基本的なシートの記入の仕方については、次ページ以降の記入例を参考にしてください。

# 学生用ジョブ・カードに関するアンケート

厚生労働省職業能力開発局  
実習併用職業訓練推進室

この度は、学生用ジョブ・カードのトライアルに御協力頂きありがとうございます。  
このアンケートは、学生用ジョブ・カード案のトライアル（試行的活用）に御協力  
頂いた学生のみなさまに、学生用ジョブ・カードを作成・活用した感想などを伺うこ  
とを通じて、より使いやすい様式へと完成させるために実施するものです。  
積極的な御意見をよろしくお願いします。

(別表)

## ～学生用ジョブ・カードの項目～

### 【学生用ジョブ・カード様式1〔履歴シート〕】

- A 学校の課程で関心を持って取り組んだこと・取り組んでいること
- B 学校のキャリア教育で実施されるプログラム、インターンシップ（正課）への参加・  
取組状況
- C 学校の課程以外で学んだ学習歴

### 【学生用ジョブ・カード様式1〔履歴シート〕】

- D アルバイト歴
- E 社会体験活動（サークル、ボランティア活動、正課外のインターンシップ、留学等）
- F その他の活動（自由作成欄）

### 【学生用ジョブ・カード様式2〔パーソナリティシート〕】

- G 日常    H 興味・関心    I 得意なこと    J 仕事に関する関心
- K 働き方についての希望    L 第三者の見方

### 【学生用ジョブ・カード様式3〔キャリアシート〕】

- M キャリア・ビジョン    N アピールポイント

次頁へ続く

**【質問1】**

学生用ジョブ・カード様式を作成した全般的な感想を教えてください。

**【質問2】**

記載しやすかった項目、記載しにくかった項目を1頁の別表から選び、記号をお書き下さい(3つまで可)。また、その理由についても項目ごとに教えてください。

記載しやすかった項目(3つまで): \_\_\_\_\_

理由(項目ごとに):

記載しにくかった項目(3つまで): \_\_\_\_\_

理由(項目ごとに):

次頁へ続く

**【質問3】**

作成して良かった項目や役に立った項目を別表から選び、記号をお書き下さい(3つまで可)。また、どのように「良かった」「役に立った」のかについても、項目ごとに教えて下さい(該当する項目がなかった場合は、空欄で構いません)。

作成して良かった・役に立った項目(3つまで): \_\_\_\_\_

どのように良かったか・役に立ったか(項目ごとに):

**【質問4】**

学生用ジョブ・カード案のうち、修正が必要だと思う項目やあまり役に立たないと思う項目はありますか。もしあれば、その項目を別表から選び、記号をお書き下さい(いくつでも可)。また、どのように修正すべきか又は役に立たないと思う理由についても、項目ごとに教えて下さい(該当する項目がなかった場合は、空欄で構いません)。

修正が必要だと思う項目(いくつでも): \_\_\_\_\_

あまり役に立たないと思う項目(いくつでも): \_\_\_\_\_

どのように修正すべきか又は役に立たないと思う理由(項目ごとに):

次頁へ続く



【質問5】

学生用ジョブ・カードに加えた方が良いと思う項目はありますか。もしあれば記入して頂くとともに、その理由を記入して下さい(思いつかなかった場合は、空欄で構いません)。

【質問6】

学生用ジョブ・カードを活用するなら、学生生活のうち、どの時期ないし学年から作成したいと思いますか。次の中から選択して、 を付けて頂くとともに、項目ごとにその理由を教えてください(いくつでも可)。

- A 入学当初(大学1年頃)      B 入学後、一定期間の経過後(大学2年頃)  
 C 就職活動前(大学3年頃)    D 就職活動中(大学3～4年)  
 E その他( )

Eには、A～D以外で作成したい時期・学年があれば記入して下さい。

上記の記号を選択した理由(記号ごとに):

次頁へ続く

**【質問7】**

学生用ジョブ・カードは、学生生活で取り組んだことや経験したことを振り返ることにより自分のキャリア・ビジョンを明確なものにするとともに、採用面接に向けて自己PRを考える際の基本材料や、就職活動時の応募書類として活用すること想定したのですが、その他に効果的だと思える活用方法はありますか。もしあれば、自由に記入して下さい（思いつかなかった場合は、空欄で構いません）。

**【その他】**

学生用ジョブ・カードに関し、御意見・御要望があれば自由に記入して下さい。正式な様式を策定する際の参考とさせていただきます。

質問は以上です。

アンケートに御協力頂き、どうもありがとうございました。

## 学生用ジョブ・カードのトライアルの結果について

厚生労働省職業能力開発局  
実習併用職業訓練推進室

この度は、学生用ジョブ・カードのトライアルに御協力頂きありがとうございます。  
今後、学生用ジョブ・カード様式をより良いものとするため、アンケートを実施させていただきますので、下記項目につきまして回答を記載して頂き、厚生労働省実習併用職業訓練推進室宛てに送付して下さい。

御多忙の折、お手数をおかけしますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

(別表)

### ～学生用ジョブ・カードの項目～

#### 【学生用ジョブ・カード様式1〔履歴シート〕】

- A 学校の課程で関心を持って取り組んだこと・取り組んでいること
- B 学校のキャリア教育で実施されるプログラム、インターンシップ(正課)への参加・取組状況
- C 学校の課程以外で学んだ学習歴

#### 【学生用ジョブ・カード様式1〔履歴シート〕】

- D アルバイト歴
- E 社会体験活動(サークル、ボランティア活動、正課外のインターンシップ、留学等)
- F その他の活動(自由作成欄)

#### 【学生用ジョブ・カード様式2〔パーソナリティシート〕】

- G 日常    H 興味・関心    I 得意なこと    J 仕事に関する関心
- K 働き方についての希望    L 第三者の見方

#### 【学生用ジョブ・カード様式3〔キャリアシート〕】

- M キャリア・ビジョン    N アピールポイント

次頁へ続く

【質問1】

学生用ジョブ・カードのトライアルを行った全般的な感想をご自由に記入願います。

【質問2】

トライアルの結果、学生用ジョブ・カードに追加した方が良いと思う内容・項目はありますか。もしあれば、その内容・項目を記入して頂くとともに、その理由を記入願います。

【質問3】

トライアルの結果、学生用ジョブ・カードの項目のうち、修正した方が良いと思う項目はありますか。もしあれば、1頁の別表から記号を選択して頂くとともに、その内容・理由を記入願います（複数選択可）。

修正した方が良いと思う項目： \_\_\_\_\_



## 【質問6】

トライアルを実施した結果、学生が、学生用ジョブ・カードを作成する時間や手間について、何かお感じになったことはありますでしょうか。もしありましたら、ご自由に記入願います。

例1：記載する項目数が多く、大半の学生が書き切ることに困難を感じていたため、もっと項目を絞った方がよい。

例2：様式の作成には時間を要したようだが、その分、自らを深く振り返ることが出来たと話す学生も多かったため、現在の項目数くらいでよい。

## 【その他】

その他、学生用ジョブ・カード及び今後の議論の進め方に関し、御意見・御要望があればご自由に記入願います。

質問項目は以上となります。

御協力頂き、どうもありがとうございました。

## 【重要：本報告様式の今後の取扱い】

本報告様式については、平成23年12月末までに厚生労働省職業能力開発局実習併用職業訓練推進室まで、郵送又はメールにて御提出下さい。

また、学生による「学生用ジョブ・カードに関するアンケート」についても、提出締切日は平成23年12月末となっておりますので、同様に郵送又はメールにて御提出をお願いします。その際、学生の作成した学生用ジョブ・カード（学生が提出を了解したのみで結構です。提出に当たっては個人情報に当たる項目をマジック等で消して下さい。）についても、併せて御提出下さい（コピーをスキャンしてメールで提出して頂いても結構です）。

# ジョブ・カード様式1〔履歴シート〕

トライアル

平成 年 月 日現在

ふりがな しごと たろう	E-mail アドレス
氏名 仕事 太郎	abcdef@mh1w.jp
昭和(平成) 2年 8月 12日生(21歳)	男・女
ふりがな とうきょうとちよだくかずみがせき	
〒100-8916	
現住所 東京都千代田区霞が関1-2-2	
(電話) - xxxx - (携帯電話) - xxxx -	
ふりがな	
〒 -	
連絡先	
(電話) - - (携帯電話) - -	

写真添付

(縦40mm、横30mm、  
上半身脱帽正面背景  
なし・最近3か月以  
内撮影)

必要ありません。

## 職務経歴

年月 ~ 年月	就業先・職務概要 等

社会人経験のある方以外は記入不要です。

履歴書の要領で記入しましょう。

## 学習歴・訓練歴

年	月	教育・訓練機関名、学科(コース)名、内容 等
平成18	3	東京都立霞ヶ関中学校 卒業
平成18	4	東京都立霞ヶ関高等学校 普通科 入学
平成21	3	東京都立霞ヶ関高等学校 普通科 卒業
平成21	4	千代大学経済学部経済学科 入学 (マクロ経済学専攻)
平成22	4	A英語専門学校 国際ビジネスコース 入学
平成22	9	A英語専門学校 国際ビジネスコース 卒業

「学生用ジョブ・カード様式1〔履歴シート〕」の「学校の課程以外で学んだ学習歴」欄に記載した事項も記入してください。

学習歴・訓練歴欄には、受講中の職業訓練も記入してください。

Ver.2.0





# 学生用ジョブ・カード様式1〔履歴シート〕①

トライアル

平成 年 月 日現在

氏名	仕事 太郎	学校名	千代大学
----	-------	-----	------

## 学校の課程で関心を持って取り組んだこと・取り組んでいること

科目名、テーマ、論文等	関心を持った理由、内容	学んだこと、得られたもの
3～4年生でのゼミ活動 (テーマ：開発経済学)	<p>大学で経済学を学ぶようになってから、発展途上国の経済成長に関心を持つようになり、より深く追求してみたいと考えた。</p> <p>また、ゼミに所属する先輩たちが、みんな活発な雰囲気だったので、自分の性格にマッチしていると思った。</p>	<p>担当教授がとても厳しく、文献の扱い方や幅広い視点から複眼的にテーマを捉えることの重要性を学ぶことができた。その結果、東アジアの貧困国に対して抱いていた印象が大きく変わった。</p> <p>また、ゼミで扱うテーマを調べる過程で、大学の先輩や友人と、数時間に及ぶ議論を行う機会が何度もあり、その度に、かけがえのない仲間を持てたことに対する充実感を得られた。</p>
卒業論文 (テーマ：中国の経済発展が東アジア経済へ与える影響に関する一考察)	<p>先進国の経済成長が伸び悩み中、近年の中国のGDP成長率は9～10%で推移しており、その要因を探るとともに、東アジア経済全体に及ぼす影響を自分なりにまとめてみたいと考えた。</p>	<p>テーマについて調べれば調べるほど、問題の奥深さを知り、設定したテーマがやや大き過ぎることを痛感した。現在も、担当教授のアドバイスを受けつつ論文をまとめている途中だが、複雑な問題を解きほぐしてゆく過程に爽快感を感じている。</p>

## 学校のキャリア教育で実施されるプログラム、インターンシップ(正課)への参加・取組状況

年月～年月	プログラム名	内容	学んだこと、得られたもの
平成22年6月	OBOG交流セミナー	各分野で活躍中の大学OB、OGの方々から学生時代をどう過ごし、それが現在の仕事にどう関連するか等についての話を伺った。	短い学生時代をいかに目的意識を持って過ごすことが重要かについての認識が深まった。
平成22年10月	キャリアデザイン講座	グループワークを通じて、自分らしいキャリアデザインの描き方を考える。	自分の望む働き方が何か、どんな仕事に興味を引かれるか等について気付きがあった。

## 学校の課程以外で学んだ学習歴

※主に在籍している学校以外の教育機関などで学んだものを記載

年月～年月	教育機関名、コース名	内容・目的	学んだこと、得られたもの
平成22年4月～平成22年9月	A英語専門学校 国際ビジネスコース	仕事に役立つ英語を体系的に学びTOEICの高得点を目指すもの	英文資料や書籍を読むスピードが上がった。

※記入欄が不足する場合は、適宜欄の追加や行の幅の調整を行ってください。

# 学生用ジョブ・カード様式1〔履歴シート〕②

トライアル

氏名	仕事 太郎
----	-------

アルバイト歴		
年月～年月	内容	学んだこと、果たした役割、貢献したこと
平成21年10月～	食品小売業の店舗における接客業務	日頃接客時に明るく丁寧な対応を心がけることにより、お客様からの感謝の声をいただくことができ、コミュニケーションの大切さを学んだ。

社会体験活動(サークル、ボランティア活動、正課外のインターンシップ、留学等)		
年月～年月	内容	学んだこと、果たした役割、貢献したこと
平成21年4月～	吹奏楽部においてトランペットのパートを担当している。	定期演奏会に向けて、部員が一丸となって練習に取り組む際にチームワークの大切さやチームで一つのことを成し遂げる達成感を学んだ。
平成23年8月～9月	インターンシップとして、食品卸売業で営業部の事務職として、会議資料の作成の補助を行った。	食品の営業部の仕事内容や雰囲気について、業務の補助をする中で実感できた。 作成の補助を行った会議資料について、社員の方々から分かりやすくまとまっている旨のコメントをいただいた。

その他の活動		※自由作成欄(自由に項目を追加してください)
年月～年月	内容	学んだこと、果たした役割、貢献したこと

※ 記入欄が不足する場合は、適宜欄の追加や行の幅の調整を行ってください。  
 ※ 高等学校入学以降の活動歴を記載することができます。

# 学生用ジョブ・カード様式2〔パーソナリティシート〕

トライアル

氏名

仕事 太郎

## パーソナリティ

### 日常

(日常の活動・行動で継続して行っていること、日頃大切に又は努力していることなどを記入)  
 大学入学を契機に一人暮らしを始めたが、週末にジョギングを10キロ走ることによって平日の勉強とメリハリのある生活を意識付けて続けている。定期的な運動を習慣化することで、最近では、健康・体力面のアップとともに、ポジティブな精神づくりに役立っていると実感している。

### 興味・関心

(日頃どのようなことに興味・関心を持っているかなどを記入)  
 国内外を問わず、政治、経済等の世の中の動きに関心があり、新聞や経済誌に意識的に目を通すように心がけている。  
 開発経済学のゼミを選択していることもあり、最近では、BRICsの経済発展のゆくえに関心を持っている。中でも中国は、難しい内政問題を抱えながら急激な経済成長を遂げており、今後の動向に注目している。  
 また、英語力の向上につなげるため、自宅で海外の映画を観る時は字幕を英語表示にしている。

### 得意なこと

(自分の長所・強みなどを記入)  
 第一に、人と接するのが苦にならず、短時間で他者と親しい関係を築くのが得意である。  
 こうした性格を活かし、昨年の大学の吹奏楽部への新入生勧誘の際、15人以上の勧誘に成功し、部の活性化に貢献した。また、インターンシップ先の食品会社では、社員の方々と打ち解け、同社の環境や気候に左右されないLED照明による最新の野菜栽培の実証実験の現場体験を希望したところ、快く受け入れて頂き、興味深い貴重な経験をする事ができた。  
 第二に、一つのことに粘り強く取り組むことができる。  
 例えば、週末のジョギングは6年続けており、大学受験の時も土・日のいずれかは欠かさず続けていた。また、大学の定期演奏会で演奏した曲目は、高校からトランペットを始めた私にとって難易度が高いものだったが、半年間、毎日3時間の練習をやり抜き、本番では満足な演奏をする事ができた。

### 仕事に関する関心

(どのような仕事に興味・関心を持っているかなどを記入)  
 私の家では、自園自製の製茶工場を営んでおり、数年前、最新機械を導入した際に両親は大変喜んでいましたが、これは銀行の支援があって初めて可能になることだった。  
 銀行は、私の家のような小さな事業所の経営を支えることができることや、グローバル化による企業の海外進出の仕事が当たり前となる中、国際的な企業とも取引ができる幅広い業務に魅力を感じている。  
 また、最近では、企業は地域の社会貢献活動にも積極的に取り組むことで企業価値を高めようとしていることにも強く関心を持っている。

### 働き方についての希望

(どのような働き方をしたいかなどを記入)  
 職業生活を通じて、自分が人間として成長し続けられるような働き方をしたい。そのためにも、国内外を問わず仕事の間を求めたいと考えており、将来的には、英語力を上達させて海外勤務も経験してみたい。  
 また、世の中の貢献を常に実感しながら働きたい。企業にとって利潤を追求することが重要なのはもちろんだが、それは誰かの笑顔につながって初めて魅力あるものになると思う。派手な中身の仕事でなくとも、持ち前の粘り強さを活かして、一つでも多くの笑顔を作りだせるような仕事に地道に取り組んでいきたい。

### 第三者の見方

(家族、友人、先輩、後輩、先生等の第三者からの見方)  
 吹奏楽部の仲間やアルバイト先の同僚からは、明るい性格であり、ムードメーカー的な存在と言われている。  
 また、中学以来の友人からは、少し目立ちたがり屋のところがあるが、繊細な面もあり、場の空気に溶け込めないような人にも気配りのできる人と言われたことがある。

本欄は、ご本人が記入するようにして下さい。  
 (第三者の方が記入する欄ではありません。)

# 学生用ジョブ・カード様式3〔キャリアシート〕

トライアル

氏名	仕事 太郎
----	-------

## キャリア・ビジョン

(将来取り組みたい仕事とその理由、仕事を通じて達成したい目標などを記入)

仕事を通じて成長を続けること、社会に貢献することを意識しながら、自分に与えられた仕事に全力で取り組んでいきたい。また、将来は、英語力をより一層向上させて海外勤務を経験するとともに、幅広い様々なスキルを磨き、スケールの大きい仕事を任されるよう努力したい。そのためにも、まずは一つひとつの小さな仕事に粘り強く取り組み、自らの糧としていきたい。

また、職場の上司や同僚、取引先の関係者等の仕事を通じて知り合った縁を大切にし、相手の立場にも配慮しながら、業務目標を達成していくことを目指したい。

## アピールポイント

(履歴シートやパーソナリティシートを参考に記入)

日頃から人と接するのが好きであり、自分と異なるタイプや年代の人ともうまく付き合っていくことが得意である。周囲からは、周りを明るくするムードメーカーと言われることが多い。

語学の勉強や週末のジョギングなど長く続けているものがあり、TOEICの得点アップや体力への自信につながっている。また、一つのことに粘り強く取り組むことも得意なので、コツコツと積み上げて着実に仕事を進めることができるのも私の長所である。

大学OBからは、職場の人間関係を良好に保つことの難しさを聞いたことがあるが、細やかな気配りを忘れることなく、持ち前の明るさを活かして、皆が力を合わせて業務に取り組めるような環境作りにも貢献したい。

## 教員記入欄(※)

(教員から見た本人の強み、学習意欲、就業意欲、今後期待できること等)

## キャリア・コンサルタント記入欄(※)

(キャリア・ビジョンの実現や履歴・パーソナリティに関する自分のアピールポイントを伸ばすためのアドバイス等)

平成23年〇月〇日 〇時〇分～〇時〇分

所属 〇〇大学〇〇学部教授

氏名 相談 花子

ジョブ・カード講習 受講済 未受講

ジョブ・カード講習修了番号 (受講済の場合)

〇〇-△△-××

平成23年〇月〇日 〇時〇分～〇時〇分

所属 〇〇〇〇

ジョブ・カード講習修了番号

〇〇-△△-××

氏名 相談 次郎

※教員等またはキャリア・コンサルタントが使用する欄につき、事前に記入する必要はありません。